

平成28年第2回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	平成28年2月9日(火)午前9時30分					
開 会 場 所	八代小学校 1階 会議室					
開会の日時・宣告者	平成28年2月9日(火)午前9時30分			山西 実		
閉会の日時・宣告者	平成28年2月9日(火)午後0時20分			山西 実		
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山西 実	出席	教育委員	尾島 紗緒里	出席
	職務代理	赤川 昌行	出席	教育委員	中根 政美	出席
	教育委員	深作 昭美	出席	教育委員	前田 一郎	出席
				書記:大竹孝典・熊田貴子		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 次 長	大澤 一男	八代小学校・校長	鈴木 美江		
	総 務 課 長	木村 卓朗	社会教育課・主査	巻島 重利		
	学校教育課長	森 祥一				
	社会教育課長	小川 伸朗				
	学校教育課副参事兼吉田幼稚園長	槇島 玲子				
	公民館長兼勤労青少年ホーム館長	脇谷 道夫				

会議事件名	顛末
<p>開 会 午前9時30分</p> <p>日程第1 学校の運営状況等について</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>八代小学校校長 学校の運営状況等について、資料により説明する。 《質疑》</p> <p>尾島委員 小規模校ということで大変な面もあると思うが、学校独自の様々な取組により、学力だけでなく体力にも力を入れているほか、保護者や地域との係わりが深く素晴らしいと感じた。</p> <p>中根委員 様々な取組の成果が表彰等にも表れていると思った。知・徳・体とバランスの取れた育成に校長を含めた先生方の努力を感じた。</p> <p>前田委員 腰骨を立てて学習する習慣づけを行っているとの話があったが、これは森信三さんの立腰教育と関係があるのか。</p> <p>八代小学校校長 そのとおりである。</p> <p>深作委員 校長や教頭が自らリーダーシップを取って直接、子供達と向き合っていることが素晴らしいと感じた。引き続きお願いしたい。</p> <p>職務代理 校長1年目ということで悩みはないか。</p> <p>八代小学校校長 手探りで始めたところだが、私は最初のスタートダッシュが大事だと常々思っており、わからないなりに一生懸命やっている姿は、職員や子供に伝わっている。校長という立場からの悩みとしては、教頭時代はアドバイスや道筋を与えてくれる人がいたが、この立場になるといえないということを感じている。</p> <p>教育長 学校評価の受賞枠について伺う。</p>

<p>日程第2 前回会議録承認</p> <p>日程第3 協議事項</p> <p>1 小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引について</p>	<p>八代小学校校長 体力向上は、全県中20校、学校保健は全県中7校のうちの1校に本校が選ばれた。また、歯科保健は、最優秀校が1校、優秀校が2校、優良校が15校あるうち、優良校の1校に選ばれた。職員の取組と子供達が素直についてきてくれた結果だと感じている。</p> <p>教育長 前回会議録の内容について質問を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。</p> <p>総務課長 資料により説明する。 《協議》</p> <p>中根委員 最終的には市町村の責務で進めることとなるが、委員個人としては、地域のコミュニティ拠点としてあるのが望ましいと思う。非常に重い課題と感じている。</p> <p>教育長 中根委員が以前勤務されていた地域はどうだったか。</p> <p>中根委員 私が中学校の校長で在籍していた当時は、138人いたが、現在100人ちょっとになった。単学級ということで教科担当者が全教科揃わないという課題があった。</p> <p>教育長 旧庄和町や杉戸町エリアの児童生徒が減少傾向にある。白岡市の大山小学校は、複式学級になったのか。</p> <p>学校教育課長 まだなっていないが、90人を切ったと思う。</p> <p>教育長 農村部の過疎化により減少傾向にあるが、いざ統合となると、地域の学校に対する愛着や地域の活性化が図れないなどの理由から進めることが難しい現状がある。学校の役割の違った側面も見ながら考えていかなければならない。</p> <p>深作委員 吉田小学校の運動会に参加したとき、どこから集まってきたのかと思うほど、多くの住民が参加していた。子供の数</p>
--	---

が減ったから無くすのではなく、地域で守っていくという方向性もあると思う。

職務代理

権現堂川小学校では、地域と学校で協議会のようなものを今年立ち上げたと思うが、他校にもあるのか。

学校教育課長

権現堂川小学校のようなきちとしたものはないが、学校応援団のような地域組織は、どの学校にもある。

職務代理

応援団と言われるような組織だけではなく、各学校に多面的に関わる充実した組織を新たに作っていくことも大事だと思う。また、PTAの存続についても行政としてどう応援していくかが課題だと思う。適正規模の見直しにあたっては、行政が主導するのではなく、学校が地域のコミュニティの場になっていることを重要視し、十分な説明をして理解を深め、地域住民や保護者からの盛り上がりにより進められることが大切である。

尾島委員

私の子供は小規模小学校から大規模中学校に進学だったので、親としては心配だった。ほかの保護者からは、大規模校に移ったことで友達が増えたという意見もあれば、環境になかなか馴染めないといった意見もあった。また、小規模の良さもあるが、考え方が狭くなりがちだと感じた。学区は上高野小学校だったが、すぐ近くにさかえ小学校があったので、安全に通える距離を考えて学区変更をお願いしていた。通学時間の基準として多くの自治体が、『交通機関を利用して1時間以内』と大人でも大変な距離を設定しているが、体力面よりも安全面で心配だと思う。通学距離も考慮して存続を検討する必要があると思う。

教育長

国では通学距離の基準を小学校4km以内、中学校6km以内としているが、低学年では結構な距離だと思う。

尾島委員

地区民祭を見ても分かるが、地域によって集まり方が違う。地域性も課題だと思う。

教育長

大変重い課題だが、全体的な方針などをご理解いただき、これからの方向性についてご協議いただいた。

<p>日程第 4 議 事</p> <p>議案第 1 号</p> <p>平成 27 年度幸手市一般会計補正予算（第 7 号）教育費の要求について</p>	<p>教育次長</p> <p>議案書により説明する。</p> <p>《質疑》 なし</p> <p>《採決》 全員賛成により原案どおり議決。</p>
<p>議案第 2 号</p> <p>平成 28 年度幸手市一般会計当初予算教育費の要求について</p>	<p>教育次長</p> <p>議案書により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>職務代理</p> <p>来年度から公民館に地区市民センターが設置されることをうけて、職員が 10 人増えるとの説明があったが、いくら増額となったのか。</p> <p>教育次長</p> <p>16,565,000 円の増額となっている。これは、週 3 日勤務の再任用職員の分である。</p> <p>前田委員</p> <p>薬剤師は定額だが、校医の報酬額が小学校と中学校で異なる理由を伺う。</p> <p>総務課長</p> <p>校医は、定額の 9 万円プラス児童生徒一人当たり 180 円を乗じた額が、報酬額となる。これは、薬剤師は学校単位で検査をしていただくが、校医は健康診断などで子供達を診ていただくため、その負担を考慮したものである。</p> <p>前田委員</p> <p>さってアフタースクールに参加する児童の傷害保険料 138,000 円は、どのくらいの人数を考慮して算出されているのか。</p> <p>学校教育課長</p> <p>1 日当たりの最大参加者数を 200 名としている。これに週 3 日×35 週＋サマースクール等 10 日に乗じて、23,000 人×一人当たり 6 円で算出している。</p> <p>中根委員</p> <p>学校図書館協力員の勤務条件について伺う。</p> <p>学校教育課長</p> <p>1 日 4 時間、年間 90 日の勤務で、1 日 2,000 円の報酬と</p>

<p>議案第 3 号 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について</p> <p>議案第 4 号 園医、園歯科医及び園薬剤師の委嘱について</p>	<p>なる。各校に一人配置されている。司書資格は特に必要ない。</p> <p>職務代理 さってアフタースクールについては、講師の集まり具合によって実施校数を柔軟に増やすとの話があったが、講師の集まり具合で実施校数を柔軟に考えるのは良いことと思う。事業を拡大するにあたっては、施行の成果や反省を踏まえて、より効果が上がるように計画してほしい。講師一人当たりが指導する児童数の上限を決めておくことも必要ではないか。</p> <p>学校教育課長 予算上では、講師一人に対して小規模校は3名、中・大規模校は6名ということで、計24名分を計上している。 (小規模校4校、中・大規模校2校) 2月19日までの募集で現在、新規1名しか集まっていない状況である。</p> <p>深作委員 語学指導助手(A L T)に対する市の補助は、家賃と保険料だけなのか。</p> <p>学校教育課長 家賃は、A L Tからお預かりして支払っている。補助としては布団代、渡航費などを補助している。</p> <p>深作委員 現在、何名いるのか。</p> <p>学校教育課長 4名いる。 《採決》 全員賛成により原案どおり議決。</p> <p>総務課長 議案書により説明する。 《質疑》 なし 《採決》 全員賛成により原案どおり議決。</p> <p>学校教育課副参事兼吉田幼稚園長 議案書により説明する。 《質疑》 なし 《採決》 全員賛成により原案どおり議決。</p>
--	--

日程第5

行政報告

1 教育長報告

**2 事務局からの
主要な報告**

教育長

- 1 1月に出席した各種教育長会議等
- 2 人事評価等に係る校長面接
- 3 1月出席した講演等
について説明する。

学校教育課長

- 1 平成28年度幸手市立小・中学校学級編制・児童生徒
数見込みについて
- 2 平成27年度学校評価の結果について
- 3 幸手市小中学校における生徒指導上の諸課題の状況
について
- 4 2月中旬から3月末までの行事予定
について資料により説明する。

学校教育課副参事兼吉田幼稚園長

- 1 1月の行事
- 2 2月の行事予定
- 3 インフルエンザによる学年閉鎖状況
について資料により説明する。

社会教育課長

- 1 1月・2月・3月の行事日程
- 2 体育施設利用状況
について資料により説明する。

公民館長兼勤労青少年ホーム館長

- 1 2月・3月の行事予定
- 2 1月の利用状況
について資料により説明する。

社会教育課長

- 1 図書館の報告事項
- 2 1月の利用状況
- 3 今後の事業予定
- 4 予約の多い図書(1月・上位5冊)
- 5 1月の購入図書リスト
について資料により説明する。

《質疑》

尾島委員

子ども料理教室は、毎年この時期に実施しているのか。また、参加人数を伺う。

社会教育課長

毎年、この時期に年3～4回、南公民館で実施している。料理室の規模の都合で定員は16名だが、毎回ほぼ満員の参加がある。

中根委員

まず、学校教育課から中学校の不登校者数が減少傾向にあるとの報告があったが、大変大きな成果があったと捉えている。次に、インフルエンザの対応については、ホームページで情報公開を行うなど、幼稚園、学校共に適切な対応をしていただきありがたい。最後に、社会教育施設についてはいずれも利用者が増加傾向にあり、引き続きよろしくお願ひしたい。

職務代理

学校評価結果についての感想だが、教職員は一生懸命取り組んでいるにもかかわらず、そのことが保護者や子供達に伝わっていないものもある。いかに浸透させていくかが課題だと感じた。また、教育相談の対応については、相談する環境は整っていると思うので、学校では更に子供に関わる大人として、話しやすい、相談しやすい雰囲気づくりに努めていただきたい。

最後に公民館について、来年度、新しい館長とスタッフが揃うということで、地域の人たちの期待は大きい。地域の願ひを取り上げて運営するとより充実すると思うので、よろしくお願ひしたい。

社会教育課長

館長が地元の方になるべく早く顔を覚えてもらえるよう努力させていただく。

前田委員

指定管理者が運営する図書館の開館日は、市で運営していたときと異なるのか。

社会教育課長

年末年始の休館日は一緒だが、祝祭日は開館するようになった。

前田委員

指定管理者が運営するのであれば、個人的には年中無休で開館してほしいと思う。

社会教育課長

制度的には可能である。予算の確保が一番の課題だが、市

<p>日程第 4</p> <p>その他</p> <p>1 次回定例会の 日程について</p> <p>2 次回定例会の 協議事項について</p> <p>閉 会</p> <p>午後 0 時 20 分</p>	<p>民サービスが優先となるので、指定管理者との調整により可能であれば取り組みたい。</p> <p>教育長 各委員の意見を調整した結果、次のとおり決定する。 第 3 回教育委員会定例会 日時 平成 2 8 年 3 月 8 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～ 場所 保健福祉総合センター 研修室</p> <p>教育長 吉田幼稚園の現状と課題について協議することとする。</p> <p>教育長 閉会を宣す。</p>
--	---

他特に重要 と認める事項	なし
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成28年 3月 8日</p> <p>教 育 長 山 西 実</p> <p>署 名 委 員 深 作 昭 美</p>